

## 箕面学習状況調査・生活状況調査〈概要〉

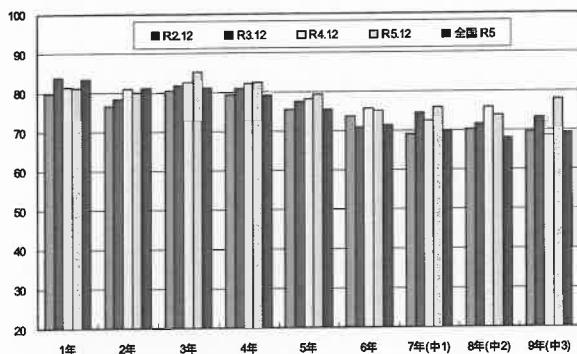
- 調査は箕面市の肯定率を全国平均値と比較
- 回答は、「そう思う」「少しそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つから選択
- 肯定率とは、選択肢の「そう思う」と「少しそう思う」の割合を単純に合計した値

**【自己認識】 箕面っ子の自己肯定感は…**

まずは、だれかに相談するでござる！

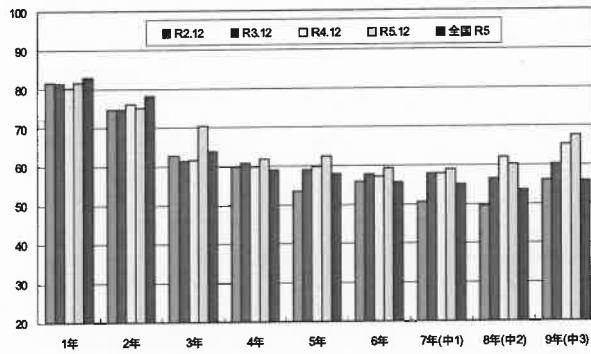
### 家族とのかかわり

◆本当につらいことがあったとき、それを家の人のだれかに相談できますか。



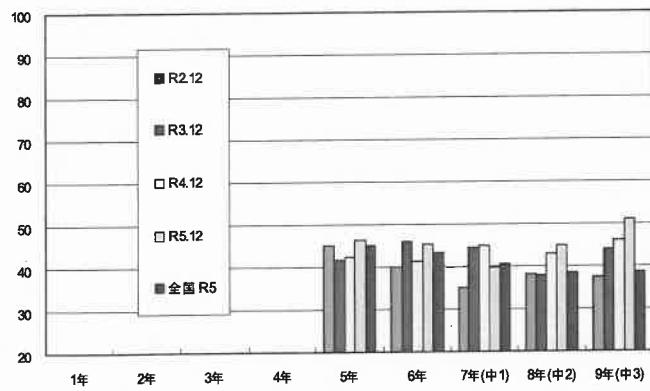
### 先生とのかかわり

◆本当につらいことがあったとき、それを学校の先生に相談できますか。

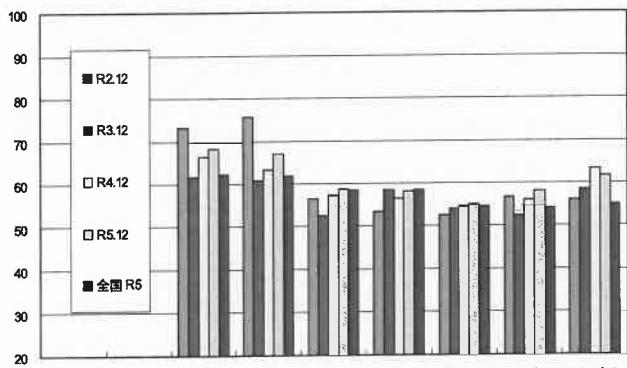


### 他者からの評価

◆あなたの発言は、クラスのみんなを動かす力があると思いますか。



◆学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちからたよりにされているんだな、と感じることがありますか。



自己肯定感を「家族や先生とのかかわり」「他者からの評価」の2点から分析しました。「家族や先生に相談できる」という割合では、ほとんどの学年で全国平均値を上回っており、家族、先生の双方に相談できていることがわかります。

また、「自分にはクラスを動かす力がある」「期待されている、頼りにされている」と思っている子どもたちは、ほとんどの学年で全国平均値より高く、中学生では、先生から期待されている、友だちから信頼されている値が、7年(1年)、8年(2年)、9年(3年)と上がるごとに高くなっています。

家族や先生、友だちに気持ちを聞いてもらうことが大切だね！



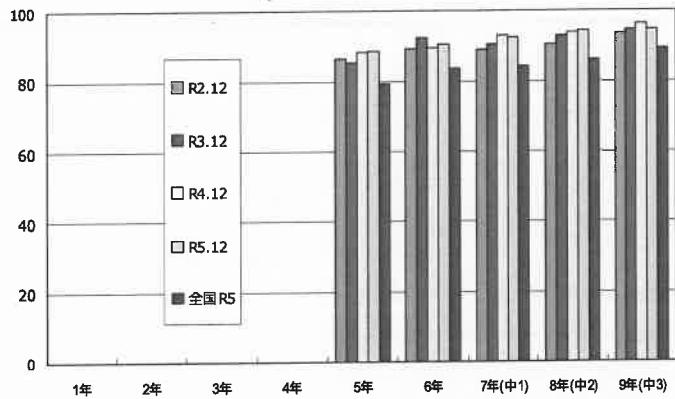
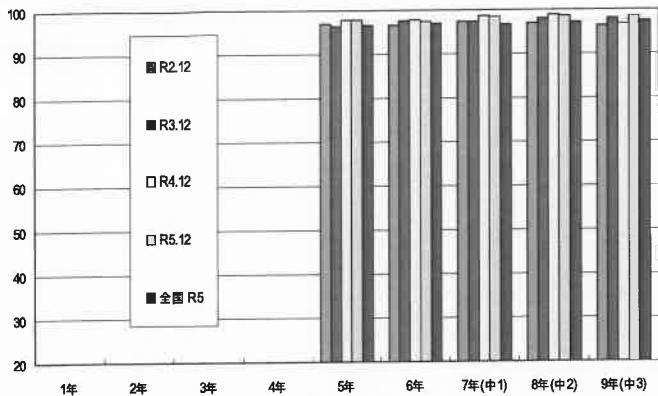
## 【対人ストレス】いじめのサインは…

このグラフは、ポイントが高いほど良好なのでござる！



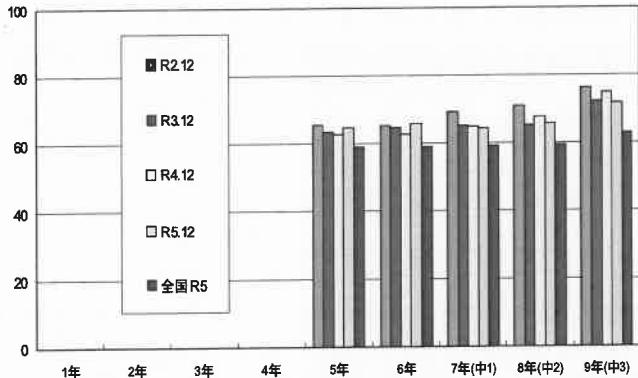
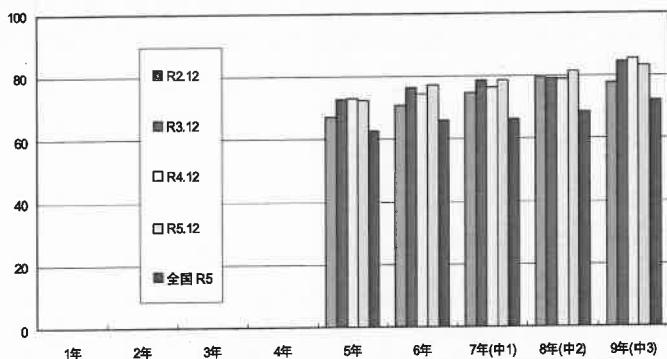
◆SNS 上で仲間外れにされたり、ひどいことを書かれたりして、傷ついたことがありますか。  
⇒「一度もない・前はあった」と回答した割合

◆自分がいつ、いじめのターゲットになってしまふか、不安を感じることがありますか。  
⇒「一度もない・前はあった」と回答した割合



◆信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。⇒「一度もない・けんかはしても傷つくことはない」と回答した割合

◆仲のいい友だちでも、本音では自分のことを悪く思っているかもしれない、と不安に思うことがありますか。⇒「一度もない・前はあった」と回答した割合



SNS 上で、いじめにあったことがないと回答している子どもの割合が全ての学年で全国平均値と比べて高く推移しています。また、「自分がいつ、いじめのターゲットになってしまふか、不安を感じることがありますか」という質問では、全国平均値と比べて、不安に感じている割合が少なく、全ての学年で昨年度の同一集団の肯定率よりも高く推移しています。

しかし、「信じていた友だちから、つらい態度をとられて、傷ついた」「仲のいい友だちの本音が不安だ」という質問においては、全国平均値と比べ高く推移していますが、2～3割の子どもが傷ついたり、不安に思ったりしていると回答していることがわかります。漠然と「自分がいじめのターゲットになってしまふのではないか」という不安は感じていないが、仲のいい友だちとの関係に傷ついたり、不安を感じたりしている傾向がうかがえます。

こうしたデータを踏まえ、各学校においては、学級・学年の発達段階に応じた人間関係づくり、いじめやネットトラブルの未然防止の授業、情報モラルに関する学習等の取り組みを引き続き行なっていきます。また、周りの大人も、子どもたちからのサインを見逃さないよう、しっかりと見守っていく必要があります。

つらい思いをしたり、不安に思ったりすることは、相談しよう

